



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 8 月末現在）

| | 7 月 | 8 月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 2,487 | 2,285 | 453,589 | 646,706 |
| 患者登録者数 | 271 | 276 | 3,036 | 45,865 |
| 移植例数 | 123 | 103 | — | 18,592 |

■8 月年代別ドナー登録者数（現在数）

| | |
|------|-----------|
| 10 代 | 2,729 人 |
| 20 代 | 70,425 人 |
| 30 代 | 143,516 人 |
| 40 代 | 186,247 人 |
| 50 代 | 50,672 人 |

■8 月の 20 歳未満の登録者 137 人

注)平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■8 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／566 人、献血併行型集団登録会／1,648 人、集団登録会／37 人
その他／34 人

■8 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数:119 件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成 28 年度予算の概算要求について

平成 28 年度造血幹細胞移植対策関係予算の概算要求の概要が厚生労働省移植医療対策推進室より示されました。総額は 23 億 9,000 万円で、前年の 20 億 6,000 万円に比較して 3 億 3,000 万円の増額となっています。「造血幹細胞移植関連情報システム一元化経費」として新たに 3 億 3,200 万円が計上されたほか、前年に引き続き「造血幹細胞移植医療体制整備事業」（いわゆる拠点病院の整備）として 3 億 200 万円（前年 2 億 4,900 万円）が計上されました。

また、「骨髄移植対策事業費」、すなわち骨髄バンク運営費については 4 億 4800 万円計上されており、前年の 4 億 4600 万円と比較して 200 万円の増額となりました。

2 経費削減策について

平成 26 年度決算において 1 億円以上の経常赤字を計上し、今年度も現時点で寄付金収入が前年度比増加していないことを踏まえ、すでに職員の夏季賞与の一部カットやコーディネーターの研修会参加活動費 5,000 円を 3,000 円に減額などの経費削減策を実施しました。なお、今年度のコーディネーターブラッシュアップ研修会は開催しません。

10 月から地区普及広報委員・説明員の活動費 3,000 円を 2,000 円に減額する予定です。併せて理事・評議員・諮問委員会委員の日当 3,000 円を 2,000 円に減額する予定です。10 月から実施する対策については 9 月 18 日に開催される臨時理事会に諮ります。承認され次第、ホームページに掲載します。

3 賛助会員入会のお願い

皆さまからのご寄付が減少傾向にあり、骨髄バンク事業の運営に必要な資金が大幅に不足しています。現在、経費削減策に鋭意取り組んでおりますが、この危機的状況を抜本的に改善するためには、財政基盤を確立することが喫緊の課題です。

つきましては、上記事情をご賢察のうえ、当法人を恒常的に支援していただきますよう賛助会員にご入会をお願い申し上げます。



4 「骨髄バンク推進全国大会 2015 in 高知」開催

「骨髄バンク推進全国大会 2015 in 高知」が「第 23 回高知県骨髄移植講演会&ドナー登録会」と共催で 9 月 12 日（土）に高知市の高新 RKC ホールで開催され、約 600 名の来場がありました。

第 1 部では、来賓の挨拶、感謝状の贈呈と当法人の事業報告を行いました。第 2 部では、「移植が必要な血液病と移植療法」と「移植患者の看護」の講演、第 3 部では、土佐女子高校合唱部による合唱、提供ドナーと骨髄移植経験者の体験談の紹介、さらに高知ファイティングドッグスの藤川球児投手も応援に駆けつけ、ドナー登録を呼びかけました。大会終了後は、ドナー登録会も開催し、10 名のドナー登録がありました。

開催にあたり、高知県や高知県骨髄バンク推進協議会に多大なご協力をいただきましたことにお礼を申し上げます。

5 9 月 19 日は世界骨髄バンクドナーデー (World Marrow Donor Day)

今年、BMDW（世界骨髄バンクドナーHLA 集計システム）が公表している世界のドナー登録者数が 2,500 万人に到達しました。これを記念して、今年から毎年 9 月の第三土曜日が World Marrow Donor Day (WMDD) として設けられ、今年は 9 月 19 日（土）がその日にあたります。世界骨髄バンク機構 (WMDA) に加盟する 52 か国のバンクで積極的にドナー登録を呼びかけるイベントや活動を行います。

当法人では、9 月 12 日（土）に開催された骨髄バンク推進全国大会で、海外の骨髄バンクドナー登録者数などを報告しドナー登録を呼びかけました。9 月 19 日（土）には横田基地日米友好祭のイベントで WMDD の PR を行い、ドナー登録会を行います。

なお、世界の主な骨髄バンクのドナー登録者数は次のとおりです。

(BMDW ウェブサイト 2015 年 8 月現在)

| | | |
|--------------------------|---------------|---------------|
| 1 アメリカ (NMDP) 790 万人 | 2 ドイツ 620 万人 | 3 ブラジル 355 万人 |
| 4 中国 83 万人 | 5 イスラエル 76 万人 | 6 ポーランド 68 万人 |
| 7 イギリス (アンソニーノーラン) 57 万人 | 8 日本 45 万人 | |

6 10 月は骨髄バンク推進月間

10 月は「骨髄バンク推進月間」です。骨髄・末梢血幹細胞移植を待つ患者さんのため、国民の皆さまに骨髄・末梢血幹細胞移植に関する正しい知識を持っていただき、一人でも多くの方にドナー登録をしていただけるよう、関係者の協力を得て全国各地でドナー登録会等の骨髄バンク推進キャンペーン行事が行われます。ポスター等の広報資材をご希望の場合は、当法人の広報渉外部（03-5280-8111）までお問い合わせください。

7 社団法人東京都トラック協会主催の献血併行型骨髄バンクドナー登録会開催

社団法人東京都トラック協会第 5 第 6 支部青年部主催の献血併行型骨髄バンクドナー登録会が、8 月 23 日（日）に池袋駅東口（東京都）で開催され、22 名のドナー登録がありました。また、協力会社のトラックには、骨髄バンクを PR するステッカーを貼っていただいております。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

8 富山&金沢で読売巨人軍のドナー登録会開催

読売巨人軍の社会貢献活動「G hands」プロジェクトの一環として、9月1日(火)に富山県富山市民球場アルペンスタジアム、9月2日(水)に石川県立野球場の球場外特設ブースで、今年3回目のドナー登録会を開催しました。富山で19名、金沢で17名のドナー登録がありました。会場のステージ「ジャイアンツクエア」では、骨髄バンク普及大使の佐々原聖子さんが「Amazing Grace」等を歌い、来場者にドナー登録を呼びかけました。

9 白血病を題材にした舞台「りほ～Remember Always～」10月上演

舞台を中心に活動している団体「ゆにっと」による舞台「りほ～Remember Always～」が10月9日(金)～11日(日)座・高円寺2において上演されます。当公演は、「ゆにっと」代表 KAZUHO さんの活動仲間の宇高志保さんが2013年2月に急性骨髄性白血病と診断され、その闘病経験を芝居にしたいとの思いから制作されました。同じ病気で苦しんでいる方々のお役に立ちたいとチケット代の一部をご寄付いただきます。詳細はホームページをご覧ください。(http://www.unit-act.com/)

10 コーディネーター養成研修会について

本年5月より全国でコーディネーター養成研修会の受講者を募集しました。最終的に263人の方からご応募いただき、書類・電話による選考の結果、36人の受講者を決定しました。募集に際してご協力いただいた方々にお礼を申し上げます。

8月29日(土)、30日(日)に東京で開催された開講式・集合研修を皮切りに、来年2月下旬まで各地区で研修します。研修生の見学・実地研修の際には、調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまにご指導いただくこととなります。どうぞよろしく申し上げます。

11 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

| 会議名 | 公開・非公開 | 開催予定 |
|----------|----------|-----------------------------|
| 臨時理事会 | 公開・一部非公開 | 9月18日(金) 17:30～廣瀬第2ビル地下会議室 |
| 業務執行会議 | 公開・一部非公開 | 10月23日(金) 17:30～廣瀬第2ビル地下会議室 |
| ドナー安全委員会 | 非公開 | 10月24日(土) 12:30～廣瀬第2ビル地下会議室 |

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

12 調整医師活動費の加算撤廃と感謝状贈呈の中止

経費削減の一環として、調整医師活動費の加算(1,000円:末梢血幹細胞採取を含む確認検査に加算)を10月から撤廃する予定です。また、例年実施している調整医師および採取認定施設への感謝状贈呈についても、本年度は中止することとなりましたので、お知らせいたします。

13 新 HLA 適合検索評価点に伴う運用の変更について(再掲載) <連絡責任医師、移植医師、登録医師の方へ>

8月号でお知らせしたとおり、10月1日から新 HLA 適合検索評価点が導入されます。10月1日以降にドナー検索リストが届きましたら、必ずドナー確定(ピックアップ)を行ってください。

■「自動検索」廃止について

新規登録患者はすでに9月1日から、コーディネート進行中の方は10月1日からすべて「マニュアル検索」とします。これまで「自動検索」をしていた患者さんについては、ドナーピックアップがされないこととコーディネートが開始されませんのでご注意ください。

■患者登録申請書について

書式が9月1日から新しくなりました。最新の申請書を当法人ホームページ(HOME>医師の方へ>患者主治医の方へ>各種申請書)からダウンロードしてご使用ください。

■造血幹細胞適合検索サービスについて

10月1日から更新されます。(http://search.bmdc.jrc.or.jp/web/pbcmp/top/)

より効率的な患者コーディネートのために、当サービスでドナー状況をご確認の上、患者登録するようお願いいたします。

14 貯血式自己血輸血 採血量の基準変更について<医師の方へ>

貯血式自己血輸血の一回採血量を、『日本自己血輸血学会 貯血式自己血輸血実施指針(2014)』に準じて変更します。これに伴い、骨髄採取マニュアル 第四版(2011.4.1)の基準を一部変更します。

詳細は、別紙をご確認のうえ、ご対応くださいますようお願いいたします。

15 ドナー適格性判定基準の変更について<医師の方へ>

以下の項目についてドナー適格性判定基準を変更します。詳細は、別紙をご参照ください。

- ①マラリア感染地域(B地域)

16 「造血幹細胞移植の細胞取扱いに関するテキスト」 <医師の方へ>

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会において「造血幹細胞の細胞取扱いに関するテキスト」が作成されました。同学会から関係者の皆さまにはすでに送付されていると思いますが、当法人ホームページからもダウンロード可能となっていますので、ご案内します。

HOME > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > 医師宛通知文

ご参考：日本輸血・細胞治療学会ホームページ

http://yuketsu.jstmct.or.jp/medical/medicine_and_medical_information/reference/

17 連絡事項

◆平成 26 年度ドナーフォローアップレポート発行について

「平成 26 年度ドナーフォローアップレポート」を発行しました。調整医師、採取医師、コーディネーターの皆さまに、今月号のマンスリーJMDPに同封してお送りします。

※ 当法人ホームページの、医師の方へ>調整医師・採取医師の方へ>平成 26 年度ドナーフォローアップレポートでもご覧いただけます。